

けさらん



【特集1】 国消国産とは

【特集2】 もんとあ〜る [シャインマスカットまつり]



ホームページ



もんとあ〜る



だだばら



自動車中央センター



不動産センター



JAの家電





期間限定 9/20(土)～10/4(土)

とろ〜り クリームドーナツ
1コ 180円(税込)



SPECIAL

とろけるカスタードクリームが
たっぷり入った
甘くておいしいドーナツ!

【販売店舗】

パンハウス播磨店・パンハウス馬場町店
もととあ〜る2店舗



今月のモデル



ことは 三瀬 佐藤 寿羽ちゃん 8歳

●お母さん 菜津紀さん

ひなた 石塚 陽那太くん 8か月

●お父さん 祐熙さん ●お母さん 有紗さん

従姉弟同士の寿羽と陽那太。

陽那太は人見知り真っ最中ですが、家の中ではいつもニコニコ、元気に叫んでいます。絵本を読んでもらうのが好きで、最近のお気に入りには『三匹のこぶた』です。

陽那太が産まれるのを寿羽はずっと楽しみにしていました。保育園に迎えに行ったり、一緒に遊んだり、勉強を教えてあげたい!と張り切っています。

組合長コラム

徒然なるままに

まだ見ぬ価格帯

令和6年産米の最終手取り見込は、24000円越えという過去最高の価格となりそうだ。過去に高額となったのは平成5年、平成15年といずれも冷害が発生した年で、23000円程であった。私が農家になって初めての二万円オーバー。歓喜?したと思うのだが?

令和の米騒動、何故こんな事態が発生したのか。農林水産省は米需給見通しの誤りを今になって認め、総務省は自身の統計情報の誤りは一切認めない。にもかかわらず、情報を間違えたとんでもない事が起こる。そのつければ国民に来る。一時、悪いのはJAGグループだと報道が動き、バッシングされた。迷惑千万の行為であり、非常識甚だしい。

米の増産という言葉が突然使い始めた日本政府。食料安全保障のための農業政策なのか、農民ありきの農業政策なのか。最も適切な政策は、しなければいけない事を、省庁横断的に考えていかねばならないという事であろう。一つの政策に多くの目標を求めているはず、目標と同数の政策手段が必要である。これを「ティンバーゲンの定理」と言うそう。

令和7年度、一俵約三万円の米価。我々が経験したことのない価格帯。それが果たしてどのような状況を作るのか。今から楽しみであり、不安もあり。この国の食糧を守る我々にとって、曲がり角になる事だけは間違いないだろう。

代表理事組合長 保科 互



収穫体験で「だだちゃ豆」の魅力を伝える 農事組合法人「大泉フェローズ」



楽しい収穫体験。

農事組合法人「大泉フェローズ」は8月24日、同市布目の収穫体験圃場（ほじょう）で特産エダマメ「だだちゃ豆」の収穫体験イベントを開いた。

県内外から134人が参加し、同法人のベテラン農家からアドバイスを受けながら「白山」10株を収穫し、さやもぎを体験した。

参加者からは「昨年参加した際に食べた『だだちゃ豆』がとてもおいしくてまた参加した。今年も実が入っていておいしそう。また来年も来たい」と好評だった。

この日は多くの来場があり、受付開始から30分で終了となった。

観光客にPR! 8月8日「だだちゃ豆の日」

生産者団体と鶴岡市、J A鶴岡で構成する鶴岡地域だだちゃ豆生産者組織連絡協議会は、「だだちゃ豆の日」の8月8日、鶴岡市加茂水族館で旬を迎えた特産エダマメ「だだちゃ豆」の試食を来館者約400人に振る舞い、おいしさをPRした。

生産者と市役所、同J A職員が、市立加茂水族館の駐車場で「8月8日はだだちゃ豆の日、鶴岡特産の『だだちゃ豆』をどうぞ」と声を掛け、ゆでた「だだちゃ豆」が入ったカップを来館者に手渡した。

同協議会で生産者の佐藤英成さんは「実際に試食した人たちが笑顔で食べているところを見て、元氣をもらえた。おいしい『だだちゃ豆』をこれからも作り続けたい」と話した。



来館者の方々にふるまい。

だだちゃ豆収穫最盛期 大泉枝豆直売グループ



「白山」の選別作業をする菅原会長。

8月17日、管内で特産エダマメ「だだちゃ豆」の主力品種「白山」の収穫が始まり、女性部大泉支部の大泉枝豆直売グループで運営する大泉だだちゃ豆直売所に、出荷を待ちわびた買い物客が県内外から訪れ、連日行列を作った。

今年は過去2年の気候の影響による種子の確保や発芽不良、7月の記録的高温少雨など難しい栽培環境だったが、その後の好天により生育は回復し、食味も例年以上に良好。

同グループ会長の菅原ふみ子さんは「会員が栽培した新鮮でおいしい『だだちゃ豆』をぜひ食べてほしい」と話した。

直売所は7月にオープンし、「小真木」から「白山」の5品種を取り扱い、8月29日に営業終了した。



伝統的な自然農法にこだわる 田川焼畑赤かぶ



山焼きを行う班員。

田川焼畑赤かぶ専門班は8月23日、鶴岡市田川地区の杉伐採地で恒例の山焼き作業を行った。

山焼きは、同地区特産の赤カブ「田川焼畑赤かぶ」生産にかかせない伝統的な自然農法。杉枝の天地返し、下草刈り、延焼防止などの事前作業を終えた山の斜面上側から火をつけて焼く。炎熱の中、急な傾斜で燃え広がりを調整しながら約6時間の過酷な作業となる。

特産「田川焼畑赤かぶ」は10月上旬に収穫を迎え、パリッとした食感で辛味があるのが特徴だ。地元の漬物業者などへ出荷され、出荷数量は約3トンを見込む。

班員の栗本隆さんは「この農法と地域の環境を守り、次世代に残していきたい」と話した。

生育状況や刈り取り適期を確認 稲作展示圃を巡回

鶴岡地域良質米生産推進協議会は8月29日、作柄検討会を開き稲の生育状況や刈り取り適期を確認した。管内3カ所「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の展示圃を巡回した。

今年は4月に断続的な降雨があり圃場準備が遅れ、田植え後5月下旬の低温、日照不足で生育が遅れ茎数が増えない状態だったが、6月に入り生育が持ち直した。中干から出穂にかけて7月は無降雨状態で経過し水の確保が難しい状況だった。㎡当たりの本数は、「はえぬき」で多い、「雪若丸」でやや多い、「つや姫」で少ないと品種で差が出ている状態となっている。

刈取り時期については、登熟進捗が高温により早まっていることから適期刈り取りを行うよう呼び掛けた。



挨拶する保科組合長。

出荷規格を確認 ミニトマト目揃い会



サンプルを確認する生産者。

ミニトマト専門部は8月20日、西郷選果場でミニトマトの目揃い会を開いた。ミニトマトは、JA 鶴岡の園芸における最重点品目の1つで、出荷数量は約587トンを見込む。園芸指導係がサンプルを示して出荷規格や出荷時の留意事項を説明した。特に、へた枯れのある果実は、へたを取り除いて出荷すること、カビ果の発生を防ぐため収穫後の水洗いを避けることなどを注意した。

JAの販売係は「高温で他競合産地の出荷が少ない状況のため、9月以降に高単価も期待できる。厳しい栽培環境だが、品質の良いミニトマトを1畝でも多く出荷してほしい」と呼び掛けた。

出荷は8月中旬から開始し10月中旬にピークを迎え、11月まで続く。



生産者と消費者両方に向けた支援を訴える 食料・農業・地域政策推進山形県要請集会



ガンバロー三唱する代議員と職員。

山形県農協農政対策本部は8月22日、山形市のパレスグランドで食料・農業・地域政策推進山形県要請集会を開いた。

令和の米騒動で不満と不安が高まった。備蓄米制度を堅持した米作りの継続と再生産可能な適正価格の維持には県民の理解の醸成が不可欠なことから、出席した県知事、県選出国會議員、県會議議員などへ、食料安全保障の確保、新たな水田・畑作政策の実現、適正な価格形成の実現に向けて法制化、共同利用施設の整備・更新予算を十分に確保することや、気候変動に対応した体制整備の支援等を実現するため、国へ強力に働きかけるよう要請した。

「機能発揮の土台」部門で表彰を受ける JAバンク山形県表彰

J A鶴岡は8月6日、「2024年J Aバンク山形県表彰」の「機能発揮の土台」部門で県内第2位の成績を収め、表彰された。同表彰は、農林中央金庫山形支店が今後注力していくべき指標項目ごとに表彰するもので、「農業」、「くらし」、「機能発揮の土台」の3部門で、それぞれ上位3位まで表彰される。

今回表彰された「機能発揮の土台」部門の評価基準は、収益性と効率性を判定するO H R（全事業管理費率）の低減幅や業務効率化（非対面チャネル）の取組状況、資格取得等による人材育成への取組等の総合的な合計値から、J A鶴岡が第2位となる高い評価を得た。特に、同部門内でアプリ普及率では県内トップの好成績であった。



表彰状を受け取った保科互組合長㊤と農林中央金庫山形支店津久井勝之副支店長㊦。

農業の魅力を伝える SEADS入校体験会



ミニトマト栽培について説明する佐藤さん(右から2人目)。

7月27日、鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS）の入校体験会が行われた。同体験会は、令和8年度入校研修生の募集にあたり鶴岡市やSEADSについて知ってもらうことを目的に行っている。

J A鶴岡は、圃場（ほじょう）での農作業体験や施設の見学を受け入れた。農作業体験では、西沼の佐藤仁さんのビニールハウスで、ミニトマトの栽培方法や出荷の流れ、収穫のコツなどの説明を受けた後、収穫を体験した。その後、西郷選果場でメロンの出荷の様子と白山にある「もんとあ〜る」で店舗とバックヤードなどを見学した。

参加者からは、地理的な問題による作物への影響や産直における品目選定についてなど様々な質問が出された。

その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



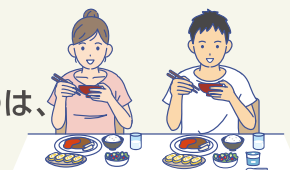
日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには・・・

JAグループサポーター 林修



私たちの国で

消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

国消費国産を進めていくことが大事です。そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

将来にわたり食料を生産していくための

取り組みが進んでいます。

生産資材の高騰が生産者を直撃

農業に必要な肥料や家畜のエサ、燃料の価格が高止まりしています。これらのコストが農畜産物の価格に反映されない状況が続けば、農業が続けられず、消費者の皆さんに安定して食料を届けることができなくなってしまいます。



持続可能な農業と食の実現に向けた環境づくり

消費者の理解のもと、生産から消費までの各段階の関係者が協調し、持続可能な食料システムの実現を目指す法律が、今国会で成立しました。令和8年4月の全面施行を予定しています。

農業と食の安心を、未来へ

生産から消費に至るまで、どこかに過度な負担が生じることなく、再生産可能な農畜産物の価格を実現することは、私たちが安全・安心な国産農畜産物を食べ続けられることにもつながります。コストを考慮した適正な価格の形成は、農業と食の安心を、未来につなげていく取り組みといえるでしょう。

コストを考慮した価格で農畜産物が販売されると・・・



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

もんとあ～る白山店

産地直送!!

『提携産直フェア』



シャインマスカット

まつり

9月20日(土) 21日(日)

出張販売

山形市・JAやまがた
ファーマーズマーケット「おいしさ直売所」

「シャインマスカット」

県内有数のシャインマスカット産地
上山市&山形市本沢地区産

もちろん
鶴岡産も
たくさん入荷!



秋彼岸準備も「もんとあ～る白山店」で

9/19(金)・20(土)は

屋外花売場を設置!!

※今年は白山店のみでの開催となります。

白山店

鶴岡市白山字西野191-2

(営) 9:00～17:30 TEL0235-25-6665

令和7年産新米、9/20(土)頃より順次入荷予定!!

青年部だより



盟友が
行く!!



大泉支部

8/8 保育園にだだちゃ豆を プレゼント

同 支部の部員が栽培した「だだちゃ豆」を食べて暑い夏を元気に過ごしてもらいたいと、たがわこども園に袋詰めした「甘露」5kgを園児にプレゼントしました。

贈呈した「だだちゃ豆」はすぐにゆでて給食で提供されました。

伊藤直樹園長は「子どもたちが喜んでくれるので大変うれしい。おいしい『だだちゃ豆』を小さい頃から食べられる幸せを感じてほしい」と話しました。



園児に「だだちゃ豆」をプレゼント!

支部では、地域農業に対する関心を高めてもらおうと毎年市内の保育園などに贈っており、今年で21回目の取り組みです。

「だだちゃ豆」のかぶり物をかぶった
渡部政弘支部長

生活文化活動のご紹介

女性大学



「きらめきカレッジ」

管内の50代までの女性を対象とし、2年1期の全10回でさまざまな分野の講座を仲間と楽しく学び、教養を身につけ自分を磨くことで、生活の充実と新たな仲間づくりを目的に開校しています。

5/22
木曜日

第1回「陶芸体験
～my 抹茶碗を作ろう～」
(農村センター)

松岡窯陶芸教室「陶の蔵」代表の下妻さき子さんと下妻彬夫さんを講師に迎え、受講生が手びねりで抹茶碗と和菓子を置く小皿を作り挑戦しました。作品は先生の窯元で焼き、秋頃に受講生に届けられます。



受講生に陶芸を教える下妻先生㊦

7/23
水曜日

第2回「身体の中からキレイに!
～庄内夏野菜レシピ講座～」

(農村センター)



調理を説明する榎本先生㊦

「タンドリー豚と夏野菜ソテー」
「枝豆とシラスの簡単ピザ」
「トマトと大葉の和風マリネ」
「鯖缶冷汁風」の計4品を作りました。

今回は鷺田民蔵商店さんのご協力の元、こうじや調味料を使った腸活も意識したレシピになっています。

管理栄養士の榎本美歩さんと鷺田民蔵商店若女将の鷺田紫さんを講師に迎え、受講生が調理実習を行いました。

調理実習では、今が旬の夏野菜をメインに



おいしい料理が
完成しました♪

おぎわら あお
荻原 碧くん
 令和5年9月生まれ

米 出

お父さん：優太さん お母さん：麻紀さん
 祖父母(父方)：荻原一男さん・富美さん
 祖父母(母方)：田中一美さん・志美子さん
 パパが作ったトウモロコシも大好き！
 すくすく大きくなあれ☆

写真掲載のご希望は総合企画課 ☎33-8179までお気軽にご連絡下さい。

赤ちゃんの頃の**虎徹**くん

2025年
7月号で紹介

テラくんの
ライバル**虎徹**くん

飼 い 主 木村 要市さん (矢馳)

わんちゃん 秋田犬 4才

母犬の育児放棄で、生後10日で我が家にやってきました。

先住猫とは仲が良く並んで食事や睡眠をとり、たまに追いかけて遊んだりして毎日をにぎやかに過しています。

ふれあい 伝言板

広報「けさらん」を読んでのご感想や身の回りのことなど、なんでもかまいませんので投稿お待ちしております。

●田んぼの実りがはっきりしてきましたね。雨不足、暑さなどありましたが、新米が楽しみです。
 ●実りの秋が楽しみです。今年は米が豊作となるように願っています。
 実りの秋、新米の季節になりましたね！おいしい新米はやく食べたいです😊もんとあ〜るでも順次入荷していますので、お立ち寄りください♪

●各地で熊が出回っています。家の近くでの農作業でも鈴やラジオを持ちましょう。
 今年は例年以上に市街地で目撃されていますね。鈴やラジオなど音の出るもので自分の居場所を知らせることで、熊と出会わないように対策していきましょう！

●百日草と初雪草が満開です。百日草は長く眺められてうれしいです。初雪草の葉が白く縁取られて雪をかぶった様子に例えられたと言われています。
 そうなんですね😊教えていただきありがとうございます！初雪草は真夏に咲いて日光に強いそうですね。見た目は涼しげで、夏にぴったりですね♪お花を見ていると癒されますよね😊



◀ メールアドレスQRコード
 ふれあい伝言板へのメールは、
 kesaran@ja-tsuruoka.or.jp まで

クロスワードが
解けなくても
投稿OKです

料金受取人払郵便

鶴岡局承認

261

差出有効期限
令和8年10月
13日まで

(切手不要)

郵便はがき

9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3-1

JA鶴岡 広報係 行き



※差し支えなければご記入ください。

ご住所	〒		
	市		
ふりがな		性別	年齢
お名前		男・女	
電話番号			

※ポストに投函されるか、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい
 〈無料ファックスダイヤル〉 0800-800-5090

(ヤミ子猫) ✂



生産資材店舗の冬期営業時間について

◆令和7年10月1日～令和8年2月28日

・生産資材配送センター ・JAグリーン資材館 ・JAグリーン西郷店	8:30～17:30 【日曜定休】
---	----------------------

※3月1日より定休日無しで営業いたします。

◆令和7年11月1日～令和8年2月28日

・生産資材配送センター	【土・日・祝日定休】
-------------	------------

生産資材課棚卸日程と休業のお知らせ

★棚卸実施に伴い全店休業となります。

配送センター・JAグリーン資材館・JAグリーン西郷店

9月26日(金) 終日休業

『期限切れ農薬』及び『農薬空容器』
の回収について

『期限切れ農薬』

『農薬空容器』

の回収実施日

10月29日(水)

注) 来月号本誌に処理依頼書を折込いたしますので、
回収実施日に一緒に持参してください。

尚、処理料金は口座振替させていただきます。

【お問い合わせ先】生産資材配送センター

☎0800-800-6006

もんとあ～る10月定休日

10月8日(水)

第33回JA鶴岡カップ争奪 中学校選抜野球大会



9/20(土)1回戦

開始式 8:18～

試合開始 9:00～

9/21(日)準決勝・決勝

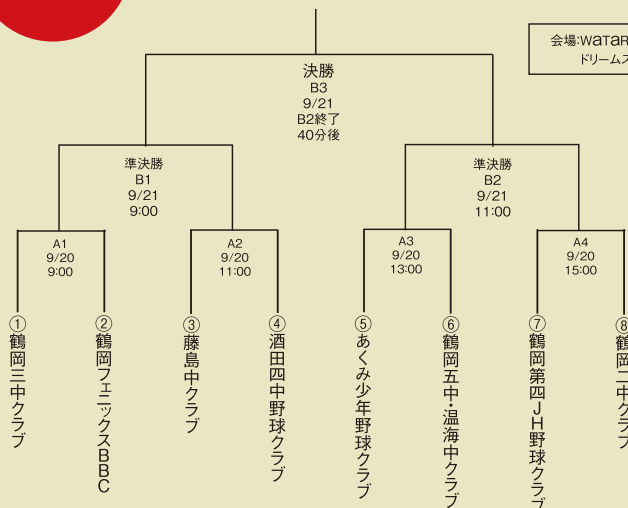
準決勝 9:00～

決勝 準決勝終了40分後

会場 WaTaRaI鶴岡

ドリームスタジアム

※順延の場合、9/23(火)WaTaRaI 鶴岡ドリームスタジアムになります。

目指せ頂点!
お米の国の
野球少年たち!第33回JA鶴岡カップ争奪中学校選抜野球大会
組み合わせトーナメント表

灯台

♪恋綴り 涙 風に揺
れて 貴方を想って胸が
鳴く今、話題の人気9人グ
ループの曲を聴きながら、
ミシンを動かすのが私の
癒しの時間。普段は果樹
農業に専念しているの
ですが、この時間だけは
何もかも忘れて没頭でき
るので毎日の活力になっ
ている。8月に黄金地区で開催
された『金峯マルシェ』
に出店者として参加しま
した。暑い中、大勢の方
々が来場してくれました。何よりも子供達の「ワ
クワク・ドキドキ」感の
笑顔が可愛いのです。子
供達から私の方がパワ
ーをいただき楽しかった
な。『金峯マルシェ』
に携わったスタッフの皆
さん、「お疲れ様!!」で
した。又、来年も『金峯マル
シェ』盛り上げていきま
しょう。広報委員 佐久間悦子
(黄金)

農サポやまがた からお知らせです

※「農サポやまがた」は やまがた農業支援センター の愛称です

農地の貸し借りの制度の 農地中間管理事業 をご活用ください



出し手農家のメリット

- ※公的機関が農地を預かるので安心です
- ※契約期間終了後には確実に農地が戻ります
- ※賃料は確実に機構から振り込まれます

受け手農家のメリット

- ※複数の出し手農家の農地を借りても契約は機構とのみ行うので手間が省けます
- ※口座振替で賃料の支払いが便利です

手数料について ◎令和7年から農地中間管理事業の利用には『手数料』のご負担をお願いします

◎農地中間管理事業の手数料について

農地中間管理事業の運営には、やまがた農業支援センターの自主財源を一部充当している経費があり、この負担が年々増加しています。

このため、将来に向けて持続的、安定的にこの事業をご利用いただけるよう、利用者の皆様に一部ご負担をお願いすることといたしました。なにとぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

◎手数料の概要

- 対象は令和6年10月以降に公告になる満期再契約及び、更新・新規契約から
(直ちにすべての契約が対象になるものではありません)
- 納付いただくのは令和7年の賃料の支払い時点から
- 以降毎年、出し手・受け手それぞれから納付
- 手数料の額は毎年の賃料に0.75%を掛けた額
(例:10aあたり賃料1万円の場合の手数料は75円)

★詳しくは やまがた農業支援センター(023-631-0697)またはセンターのホームページをご覧ください。

QR伝票作成ツール

JAバンクのホームページから伝票を簡単に事前作成

伝票の
手書きが不要!

窓口でのお手続きが
スピーディーに!



©よりぞう

QR伝票作成ツールとは

本サービスは窓口でのお手続きに必要な伝票をご作成いただけるサービスです。伝票作成のデータ入力にご利用いただけるものであり、お手続きが完了するものではありません。

■対象のお取引

お預入れ(入金申込書)、お引出し(払戻請求書)、お振替(払戻請求書)、お振込(振込依頼書)、給与振込(振込依頼書)

POINT 1

手書きが不要
(※1※2)

POINT 2

取引所要時間の
短縮

POINT 3

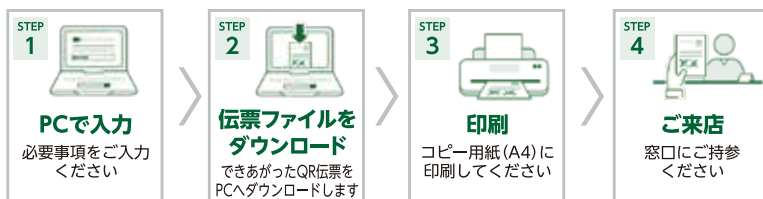
一度作成したデータを
再利用可能

※1: 各伝票のお取引日・ご依頼日についてはご記入をお願いします。

また、入金申込書、払戻請求書については、**個人事業主(屋号付きを含む)および個人名義のお口座の場合、おなまえ欄にご署名をお願いします。**

※2: 払戻請求書へのお届印押印は必要です。

ご利用の流れ



伝票イメージ



通帳へのコメント
表示作成可能

手書き
負荷が軽減

一度に複数件数の
処理が可能

自宅等で
印刷可能

詳しくは QR 伝票作成ツールの商品説明ページへ

<https://www.jabank.org/qr-tool/>



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

お問合せ先

お問合せ先・ご相談は

JA 鶴岡各支所 信用窓口へ



No.657 2025年9月発行

- 連絡先／鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-1 TEL.0235-23-5090
- ホームページ <https://ja-tsuruoka.or.jp> ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp
- 印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会



JA鶴岡広報誌

けさらん

